

飛躍

HIYAKU

第325号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2013年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

東海大学適性審査による合格者24名

TOP*NEWS

学園オリンピック 文化部門入賞者7名



適性審査による特別奨励候補者の皆さん
後列左から大谷君・筒井君・高橋君・齋藤君
前列左から鈴木さん・若狭さん・関さん・橋本さん



学園オリンピック夏季セミナー入賞者の皆さん
後列左から木内君・美馬さん・鈴木君
前列左から中西君・末野君・芦野君・庄司君



学園オリンピック (数学部門)



学園オリンピック (理科部門)

希望を星につなげ!

2013年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

7月31日から8月5日までの6日間、東海大学 孺恋高原研修センターで東海大学学園オリンピック文化部門の夏季セミナーが実施されました。本校からの参加

者はその持てる力を存分に発揮し、次の7名が入賞し表彰されました。おめでとうございます。

部門別 受賞者

国語部門 (第19回)	優秀賞	中西 八洋	2年 6組
数学部門 (第23回)	優秀賞	末野 玲雄	2年 7組
理科部門 (第20回)	優秀賞	芦野 光祐	2年 9組

知的財産部門 (第10回)	奨励賞	庄司 輝	2年 9組
ディベート部門 (第8回)	奨励賞	木内信之介	2年 4組
	奨励賞	美馬夕佳里	3年 9組
	努力賞	鈴木 葵	3年 9組

2013年度 東海大学学園オリンピック

スポーツ大会

種目	順位	氏名
陸上競技 男子100m	2位	永山 雄登 2年 4組
男子走り幅跳び	2位	村山 航大 3年 3組
剣道 女子個人	3位	黒澤結佳子 3年 2組
卓球 男子団体	3位	
男子個人	3位	石井 智崇 2年 5組

2013年度 夏休み部活動結果

陸上競技部

インターハイ 八種 33位 村山航大

ダンス部

全国高等学校ダンスドリル全国大会
HipHop女子部門 small編成 第2位



軽音楽部

東京都軽音楽コンテスト 優秀賞 flare 9
優秀賞 M·Holic



中等部吹奏楽部

東京都吹奏楽コンクール東日本部門 金賞
東日本中学校吹奏楽部大会に出場

中等部柔道部

田谷 紬希菜 全中都予選 第2位
関東大会に出場

2013年度学校運営方針

6月号から9月号で本校の「教育の重点目標」をご案内しました。今月からは、重点目標に対する具体的な取り組みについて、細かくご紹介していきます。

研究授業・一斉公開授業

毎年各教科で「研究授業」を行っています。また、5月と11月には「一斉公開授業」の日を設定し、全学年の授業を見ることもできる機会を作っていますが、基本的には毎日授業を見学していただけるようにしています。

授業の状態をチェックするという意味で、生徒や保護者による授業評価を実施しています。生徒や保護者の意見に耳を傾け、謙虚な姿勢で、指導技術向上を目指しています。授業評価で、何が評価されているのかを十分認識し、各個々の教員の授業展開や生徒指導方法のレベルアップにつながるよう努めています。

SSH活動報告

8月8日、東京大学にて「プラズマ核融合学会」が行われました。本校から3年SSHクラスの6名が参加し3テーマに分かれ、口頭発表やポスター発表を行い、1組が優秀賞となりました。

8月22日～24日の3日間、2年生SSHクラスと普通クラスの希望者の生徒が「課題実験夏期集中」に参加しました。光・画像、宇宙物理、材料科学、化学、免疫、放射線、自然環境、情報、数学の9コースに分かれ、22日・23日の2日間は東海大学で、大学の先生の指導のもと、事前学習を踏まえた実験・実習を行いました。24日は実験のまとめを行いました。9月2日に発表会を行い、各コースの成果を確認しました。生徒は自ら課題を見つけ、大学の先生方にご指導いただきながらその課題を解決しようと積極的に学ぶことができました。

超電導班の苦勞

赤川 純

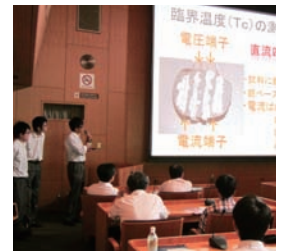
3年9組 大田区立雪谷中学校出身

僕たち超電導班は、8月8日に行われたプラズマ核融合学会で口頭発表を行い、優秀賞を受賞することができました。口頭発表は2度目になりますが、今回は東京大学での発表、全国からの参加ということもあり、かなり緊張しました。

超電導班は3人で活動しており、超電導の研究は僕たちで8年目になります。そして、今までの先輩が積み上げてきた成果をもとに日々研究を行っています。

今回大変だったことは、超電導体の作製です。作製には時間がかかるため、放課後夜9時頃まで残ることもありました。また、僕たちは失敗が多く、授業時間では全く足りなかったため、放課後や土日、夏休みに実験や発表練習を行いました。

完成したパワーポイントのデータが消えるなど、最後まで大変なことばかりでしたが、野崎先生をはじめ、たくさんの方々のサポートのおかげで優秀賞という結果を得ることができました。これからも感謝を忘れずに研究に取り組みたいです。



大勢の人に聞いていただきました

きれいな自然で体験できたこと

佐野 友昭

2年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は今回、高校2年生のSSH活動の一番大きい課題実験夏期集中で、東海大学の望星丸に乗船しました。伊豆大島まで行きながら、乗船体験をしたりと講義を受けたりして2泊3日の活動をさせていただきました。

この活動は、大学生の実習に参加してその模様を見学させてもらったり、体験したりするものでした。実習では、船上での海洋観測や島でのシュノーケリング、山登りなどを体験しました。海洋観測は、海水の温度や塩分濃度、風の向き、風速、海のプランクトンなど、さまざまなことを観測しました。伊豆大島では、きれいな海でシュノーケリングをして、自分の目で泳いでいる魚たちを見ることができました。

私はこの活動で、初めて体験することがたくさんありました。船に乗ったり、シュノーケリングをしたり、島に行くのも初めてでした。このような経験、体験ができてためになりました。そして、今回の活動を通し学んだこと、経験したことを今後の研究活動に生かしていきたいです。



海洋水質調査の見学

中等部1学年だより

7月11日に行われた剛健旅行。中等部1年生は16.1kmの道のりを歩きました。初めてで不安もありましたが、この行事を通して達成感を得られた生徒も多くいたようです。今回は、夏休みの前に行われた剛健旅行に関する生徒の思いを紹介します。

初めての剛健

植竹 光

1年A組 宝仙学園小学校出身

今回、初めて16.1kmという長い距離を歩きました。実際に歩いてみると思っていたよりもきつく、つらかったです。

最初、私は順位を気にしながら走っていました。しかし、途中から靴ずれが起きたり、疲れから明らかにペースが落ち順位はどうでもよくなりました。どちらかというゴールできればよいと思いつつ、後半は走っていました。

後半になると長い登り坂や、左右に蛇行している道が続いて、疲れている体にさらに疲れが増し、ものすごくつらく、リタイアしようかと思いました。しかし、一緒に走っていた友人と励まし合って何とか最後までゴールすることができました。

今回は走る前には特に目標を立てていなかったのですが、達成感はあまりなく少し淋しかったです。来年は自分なりにしっかりと目標を立て、それに向かって走り達成感を味わってみたいです。

2人で完歩

江波戸 優真

1年B組 品川区立三木小学校出身

先日、剛健旅行がありました。場所は嬬恋。中等部生16.1kmもの長い道のりを、「完歩」を目指し歩いていきます。

僕たちは、初めての剛健旅行で最後まで諦めずに歩ききれるかななどいろいろな心配がありました。そこで、今年の目標は「完歩」にしました。16.1kmの長い道のりを歩ききれるという思いで決めました。僕は同じクラスの久保君と一緒に歩きました。道は砂利道や長い下り坂、上り坂など完歩するには、とても大変な道のりでした。しかし、2人ともお互い「大丈夫?」など心配しながら歩いた結果、念願の「完歩」をすることができました。

長い道のりを2人で諦めずに歩ききれた達成感は最高でした。剛健旅行前に立てた目標「完歩」は2人で一緒に達成した一生心に残る思い出になります。今回のことを忘れずに、次回の剛健旅行を楽しみにしていきたいです。



女子先頭グループ。余裕の表情です



男子も負けていません!



後半組もリタイアせずに頑張りました



2人で完歩、おめでとう!

中等部2学年だより

English Summer Camp

長い夏休みも終わり、8月27日(火)から29日(木)までの3日間、中等部2年生は東海大学孺恋高原研修センターでEnglish Summer Campを実施しました。

平均気温18℃という涼しい環境の中で、アメリカ人大学生の皆さんと寝食を共にしながら英語漬けの毎日をご過ごしました。「習うより慣れる」が昨今の英語上達の極意だそうです、生徒諸君はこの3日間で英語に十二分に慣れ、飛躍的に英語力を高めたことでしょう。

普通に話せた喜び

佐藤 光菜

2年A組 大田区立山王小学校出身

私はSummer Campがとても不安でした。先輩にどのようなものか聞いて、寝るとき以外はずっと一緒にACがいて、テンションがとても高いと言われました。ついていけるのか、ACに自分の英語が伝わるのか、きちんと話せるかなど不安でした。けれども、行ってみるとそうでもなく、身振り手振りをしたり、わかる単語を言うときちんと伝わり、安心しました。この3日間とても楽しかったです。みんなで劇をしたり、踊ったり、ペイントしたりゲームをしたり。時にはアシュリーという女性ACのボーイフレンドについて、みんなで語り合いました。また、ジブリアニメなど日本の話もしてくれて話が弾みました。外国人とこんなに長い時間一緒にいたのは初めての体験でした。この体験を通して、外国人と普通に話ができるようになったことが一番大きな収穫でした。お別れするのは寂しかったのですが、とても良い経験になりました。

English Summer Campでの3日間

諸星 大樹

2年B組 品川区立品川小学校出身

ぼくは、English Summer Campでの3日間を通して、ずっと英語を聞いていたので英語を以前よりも理解しやすくなりました。また、English Summer Campで一番楽しかった活動はなんといってもアメリカンカーニバルとキャンプファイアーです。アメリカンカーニバルでは、AC(アメリカ人のスタッフ)の人たちにフェイスペインティングをしてもらったり、ゲームなどをしてもらったりして、とても楽しかったです。キャンプファイアーでは、マシュマロを焼いて食べたり、アメリカのゲームをしたり、歌を一緒に歌ったり、アメリカ式のキャンプファイアーを体験することができ、とても楽しかったです。このような機会があれば、ぜひまた行きたいです。



まずは自己紹介



たくさんゲームをして仲良くなりました



スポーツは世界共通です!!



英語で劇を作りみんなに披露しました



カーニバルでは、顔にペイントをしてくれました



キャンプファイアーでマシュマロを焼いて食べました

中等部3学年だより

中等部3年生は部活動引退後、引き続き卒業まで後輩の面倒を見る生徒や、中高一貫校のメリットを生かして、一足先に高校への部活動に参加している生徒もいます。また、校外で一生懸命に自分の技を磨いている生徒もいます。今回4人の生徒に、中等部での最後の夏休みの思い出をそれぞれ書いてもらいました。

悔しさをバネに

郷田 力哉

3年A組 品川区立大井第一小学校出身

僕は、今年の夏休みは、特に旅行にも行かず、一心不乱に陸上部の活動に明け暮れていました。

今年の私学大会で引退だったので、海もプールも断念して、ベストの記録が出せるように、一生懸命練習しました。しかし、頑張り過ぎたせいか、バテてしまいました。また、夏風邪をひいてしまい、とてもつらく、焦りと不安が募るばかりでした。

これまで1位をとったことがなかったので、今年こそは1位をとってやるという強い意志を抱いて、大会に臨みました。

結果は、競技会では7位と5位、引退の大会では最下位と怪我のための不参加になってしまいました。この結果を振り返ると、とても情けなく思いました。最後のリレーで怪我をして、本命の100メートルに出場できなかった悔しさと、ここぞというときの弱さが悔しかったです。

この夏は、自分の詰めの甘さを改めて実感させられました。

限界に挑んで

成田 理南

3年B組 葛飾区立柴又小学校出身

私が所属する中等部の吹奏楽部は、今年の夏のコンクールで金賞と東日本大会出場を決めました。その練習過程で、私はたくさんの限界に挑戦してきました。

大会の3日前には合宿に行きました。バスで3時間ほどの場所にある秩父で2泊と、飯能のホテルで1泊の合計3泊4日の合宿でした。宿舎とホールで2日ずつ練習をしました。本当につらい練習でしたが、とにかく大会のことだけを目標に頑張りました。

本番では、1つ1つの音を大切に吹き、とにかくアタックとリリースの合わせを頑張りました。本番に悔いは残っていません。

結果発表では、私たちのグループの中では、私たちだけが金賞でうれしかったです。東日本大会の出場発表では、緊張感のあるホール内で次々とうれしい声が聞こえてきました。私たちの発表は最後の最後で決まり、どんなにうれしかったことか。私はこの思い出を一生忘れないくらい大事にしたいと思います。

幸せについて

井上 和

3年A組 葛飾区立南奥戸小学校出身

今年の夏に私が学んだことは、人を幸せにすることは難しいけれど、喜んでもらった時のうれしさは替えがたいものがあるということでした。

「人を幸せにする。」簡単な言葉のように聞こえますが、実際に人に幸せな気持ちになってもらうことは大変です。この夏私も体験しました。それはバレエによってでした。バレエの発表会があり、たくさんの人が見に来てくれました。ずっと練習を頑張ってきたので、全力を出して踊ろうと思って舞台上立ちました。舞台上立って客席の方を見たら、今まで感じたことがなかった気持ちになりました。私は心から楽しんで踊って、踊り終わったときは感動と幸せの感情で満ちていました。

無事、発表会が終わり母に会うと、母は「幸せな気分だった」と言ってくれました。本当の幸せは相手だけが幸せになるのではなく、自分も幸せになることだということにも気づいた夏でした。

残り少ない中学生生活

三尾 大河

3年B組 横浜市立北綱島小学校出身

中学生最後の夏休みは、宿題や部活動で忙しく1日がすぐに終わってしまい、1か月以上あった夏休みがとても短かったような感じがしました。

部活動では、最高気温が35度以上ある猛暑の中サッカーの練習をしました。少し歩いてだけで汗が出てきたり、練習のウォーミングアップだけで疲れてしまいました。でも、9月中旬に試合が控えています。9月になれば気温も少しずつ下がってくると思うので、その試合に向けてとにかく頑張りました。

つらいことの一方で、楽しいこともありました。祖父母の家に行き、海や山の自然を満喫したり、初めて外交のSF映画を、しかも迫力ある3Dで見たことです。

中学の夏休みは終わってしまいました。もう、中学生としていられる時間が減り続けているので、日々の生活を大切にしたいと思いました。

高校1学年だより

7月11・12日に剛健旅行が行われました。高校1年生には初めて経験する長距離歩行であり、苦しみながらも得るものがあった学校行事でした。最後まで頑張り通した、それぞれの生徒の感想を紹介します。

剛健で学んだこと

宇留島 萌

1年1組 川崎市立高津中学校出身

高校生になって初めての夏、私にとっては最初の剛健旅行でした。女子コースの30kmという長い道のりを最後まで完走できるか不安でいっぱいでした。

女子は午後からのスタートで、とても暑い時間帯でした。私は同じ部活動の先輩方と一緒に走っていました。出発してから10kmくらいはずっと林道を走りました。砂利道で走りにくく何度も心が折れそうになりました。でも、そんな私を先輩方は励ましてくれました。一人では乗り越えられなかった道も、仲間と一緒にならば乗り越えられると思い、懸命に走りました。

これは部活動も同じだと思います。つらいときも苦しいときも最後まで絶対に諦めてはいけません。初めての剛健旅行でこのような大切なことを学ぶことができました。来年は今年よりもさらに順位を上げたいです。そして今度は私が後輩を引っ張れるような先輩に成長したいです。

剛健旅行の思い出

西宮 楓

1年6組 川崎市立南河原中学校出身

初めての剛健旅行、走る前は楽しみと不安の入り交じった複雑な気持ちでした。剛健旅行は私が想像していたよりも何倍も過酷な行事でした。一番大変だったのは林道です。足場の悪い砂利道がいつまでも続き、その道をハイペースで走ったのでとてもきつく、また、晴天で気温も高く、背負っている荷物も走るたびに肩に負担がかかってきて体力が奪われていきます。私は女子バスケットボール部の1年生や先輩方と一緒に走っていました。足場の悪い林道も長い坂道も一緒に走った仲間たちの励ましがあつたから乗り越えることができました。その方たちとは初めて会ったのに励ましてもらい感謝しています。苦しい中でも自然に満ちあふれた嬬恋村の風景を見ることができて、良い経験もできました。それに、同じ1年生同士で肩を並べてゴールしました。

私はこの剛健旅行でチームワークの素晴らしさを学びました。苦しくてやめたくなった時に、一緒に走った人たちの存在がとても大きなものでした。身も心もボロボロになりながらゴールしたときの達成感とそのときの喜びは忘れられない思い出です。来年の剛健旅行も頑張ります。

楽しかった剛健旅行

大谷 拓摩

1年8組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は中等部で16kmの剛健旅行しか経験していなかったので、倍以上の40kmもの道のりに恐怖を感じていました。実際に歩いてみて昨年までの剛健旅行との違いを身にしみて感じました。去年の16kmでさえつらくて途中で何度も投げだそうと思いました。でも頑張って歩き通しました。今年は昨年までと違ってゴールがなかなか見えなくて、20km付近から足が痛くなったり、足がつったりしましたが痛みに耐えて走ったり歩いたりを続けました。だからゴールが見えたときには、とても達成感がありました。結果は10番以内には入れない中途半端な順位でとても悔しかったです。

しかし、今回の剛健旅行では知らない人も知り合えたし、また一緒に走ったりした人がいたから最後まで頑張れたと思います。高校での剛健旅行は中等部の時とは違い、とてもつらかったけれども、楽しいこともあったからよかったです。来年はもっと頑張ろうと思っています。



高校2学年だより

研修旅行 - Unforgettable Journey ②

前回に引き続き、研修旅行について、コースの代表生徒たちの感想をご紹介します。
今回はハワイ・ホームステイコースと沖縄コースを紹介させていただきます。



◆ハワイ・ホームステイコース

小泉 陽

2年2組 目黒区立東山中学校出身

私がホームステイコースを選んだのは、ハワイの人々が普段どのような生活をしているのを見られると思ったからです。1日目はなかなか英語に耳が慣れず、聞き取れないところがあったりもしました。2日目の半日が過ぎるころには、日本のマンガや海外の映画などで話が弾んだりもしました。1つの会話からいろいろなことに話題を広げられるのがホームステイの良さだと私は思います。しかし、そこで何よりも身に染みて感じたのが己の英語力の未熟さです。自分にもっと英語力があれば、もっと今回の旅を楽しめたと思っています。ホームステイにおいて最も重要なことは、ホストファミリーに自分のやりたいことをしっかり伝えられるかということだと思います。自分は何が好きで何をやりたいかということを言えることが、いかにホームステイライフを楽しめるかに繋がると思います。共に楽しんだ仲間たち、ホームステイに協力してくださったホストファミリーの方々など、この旅行を支えてくださった皆さんに感謝します。



ハワイ・ホームステイコース

◆沖縄コース

大久保 翔

2年3組 足立区立栗島中学校出身

ぼくは6月20日から25日まで研修旅行で沖縄に行きました。いろいろなことがありましたが、ぼくが一番学んだことは、感謝だと思います。ぼくは、あの大自然豊かな沖縄で残念なことに胃腸炎になりました。海にも入れなかったし、部屋も1人でした。でも、後悔はしていません。友達や先生方などの優しさを感じることができたからです。心配してくれる人がいてくれて、自分はとても幸せ者だと感じる事ができました。ひめゆりの塔、首里城公園、マングローブ、沖縄美ら海水族館、そしてキレイな海と、東京では体験できないことを目で見て肌で感じる事ができました。行った人のほとんどがまた来たいと思っているはずです。全員が無事帰れたこともとてもよかったと思います。今回できた貴重な仲間との体験を忘れないでほしいです。そして感謝の気持ちも！1人ひとりが感じたこと、学んだことを大事にしてほしいと思います!!



沖縄コース

高校3学年だより

特別奨励候補者となる秘訣はなんだろう？

その疑問に答えるべく、今年度の該当者の皆さんにアンケートを実施して、学習に対する取り組みと工夫を教えてくださいました。この結果の中から日頃の勉強のヒントをたくさん見つけてください。

(回答者数は47人。下記の単位のない数字は人数を表しています)

●得意		
Q1.得意科目を1つだけ挙げると何ですか？	1位 数学	17
	2位 体育	8
	3位 地歴公民	7
●不得意		
Q2.不得意科目を1つだけ挙げると何ですか？	1位 英語	14
	2位 芸術	6
	3位 国語	5

Q3.自由な時間は、どのように過ごしていますか？
 ・趣味・テレビ・マンガ・寝る・スポーツ・インターネット・ゲーム・ゴルフ・遊んでいる・ピアノ・食べている・音楽を聴く・買い物に行く・欲望のままに・1人で過ごす・カメラ・バドミントンをする・ベース、ギターの練習・DVD・友人と過ごす・ぼーっとしている・スマホを使う・筋トレ・野球を見る・PC・語学・本を読む・アニメを見る・身体を休めている・家事

Q4.将来、就きたい職業は決まっていますか？

決まっている: **23** 決まっていない: **24**

・医師(眼科医を含む)・看護師・保健師・医療工学技士・臨床工学技士・教員(中学校・数学・体育など)・研究者・公務員・水族館・エンジニア・グラウンドスタッフ・製造業・建築士・経営者・俳優

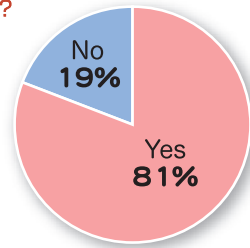
Q5.第1志望は、いつ頃に決めましたか？

1年生前期: **10** 2年生前期: **10** 3年生前期: **10**
 1年生後期: **4** 2年生後期: **13**

Q6.何を励みに勉強していますか？
 ・人に褒められること・ダンス・将来の夢・自分の成長・友人と過ごす時間・留学・奨学金・テストの後の優越感・好きなものを得るため・悪い点を取らないようにする・大学でみんなについていくため・部活動・勉強を終えた時の満足感・後で後悔したくないという気持ち・特奨・成績を上げること・1,2年は特奨を目指して、3年では大学で苦しい思いをしたくないから・インターネットで日本語以外の情報を共有するため・自分の好きなものを買うため・受験生である妹の頑張る姿・お小遣いUp!・成績が上がっていくのがうれしい・結果と達成感

Q7.部活動に入っていますか？

Yesの回答で：
 運動部(28)
 文化部(10)
 同好会(1)



Q8.試験前の平日・休日に何時間勉強していますか？

	0	0.5	1	1.5	2	3	3.5	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
試験前の平日	1		7		10	14	1	7	4	1		1		1				
試験前の休日					6	8		7	6	7	4	3	1	4		1		

Q9.先輩へのアドバイスを何でも
 ・自分のための意識を持ってやってください・決めたことは必ずやる・計画的にやるのが大事だと思う・貪欲になりましょう！・授業を聞いていれば部活動との両立は可能なので頑張ってください。どちらも乗り越えれば達成感を得ることができます・やればできる・授業に集中しよう・メリハリのある生活を行おう・日ごろから勉強する習慣をつけた方が、大学に行ってもあまり苦勞しないと思うので頑張ってください・基礎学を頑張ってください・やりたいことがあれば、自然に勉強するようになる・日ごろからできることは、やった方がよいと思います・提出物は期限を守ろう！・部活動を理由に勉強を怠らないように・授業中は寝ないでしっかり話を聞きましょう・1年間ずっと頑張るのは難しいので、大事な時期に頑張る・授業内で理解していると試験前がとても楽になる・部活動との両立をしっかりとし、時間があるときは遊んで高校生活を充実させよう・短時間でも勉強に集中できるようにすること！・早めに目標を立てて、それを目指して頑張れ！・後になって後悔することのないように早いうちから勉強するべき・自分の将来のために頑張ってください・日ごろの努力が大切なので頑張ってください・英語は教科書をやれば点数が取れるようです・頑張れ！・基礎学だけでなく定期試験を頑張ってください・早めに行きたい学部を決めておいた方がよい・時間はあっという間に過ぎてしまいます。今、できることを！・「目標は大きく」とよく言うけど、毎日の小さな目標を積み重ねるのも大きな目標につながります。だらだらゲームとかもったいないことをしないで！

TOKAI キャンパスメッセージ

東海大学政治経済学部経済学科の紹介



政治経済学部経済学科主任 小崎 敏男

高輪台高等学校の皆さん、はじめまして。経済学科の責任者をしている小崎です。この場をお借りして、経済学科の紹介をさせていただきます。

経済学科の紹介をはじめる前に、「経済学」とはどのような研究をする学問かを最初に話させてください。高校時代には「政治経済」という科目で勉強していると思いますが、その科目のなかには、経済の他に政治や経営といった事柄も含まれていると思います。経済学は、そのなかの「経済」を中心に研究を行います。ここでは、「勉強」という言葉を避け、あえて「研究」という言葉を使用しています。

さて、「経済学」の定義とそれがどのような学問かは、後半で論じることとし、まずは、入学後どんな科目を選択し勉強できるのか、設置されている専門科目を紹介します。そこから本学科をイメージしてほしいと思います。

1年次では「入門経済学1・2」「経済学1・2」「経済数学」「統計学」などの基礎科目を勉強し、2年次から専門科目を履修することが可能となります。専門科目には「労働経済学」「財政学」「金融論」「国際経済学」等の科目が用意されています。

3年次と4年次には「ゼミ」と呼ばれている「ゼミナール」が用意されています。この科目は前述した専門科目から自分の興味がある科目の担当の先生に就いて専門科目を研究するものです。参考として、私が担当している「労働経済学」のゼミを紹介したいと思います。学生数は15～20名程度です。私の専門は労働経済学ですが、労働経済学の研究領域は広く、企業内部の事柄を扱う「内部労働市場」と、企業の外の事柄、日本の平均賃金、失業率などを扱う「外部労働市場」に分かれています。こうした広い領域のなかで、現在の私の研究テーマは「人口減少と労働政策」です。今後日本の人口は減少すると同時に超高齢化時代に突入します。このような時代では、もはや、高度成長は望めません。なぜなら、働く人々が少なくなってくるからです。そこで、こうした人口が減少し高齢化する社会に対応するシステムを考える必要に迫られています。こうした課題には、明確な答えがありませんが、皆で考え答えを科学的に見い出していく過程を研究しています。

こうした課題に答えるためには、やはり「勉強」ではなく「研究」が必要なのです。また、科学的に考察し、厳

密に理論的に考察を加えるためには、「経済数学」が必要となります。また、現状を把握するためにデータを入手して分析する必要も生じます。そのために「統計学」や「計量経済学」「語学」が分析道具として必要となります。

ここで、「経済学」について少しお話しいたしましょう。「経済」の語源は「経世済民」（世を治め、民の苦しみを救うこと）と言われています。経済学の目的は、無限とも言える人間の欲求を満たすために、有限である資源をどのように効率的に利用するか（効率性）。また、豊かさは一部の人々だけでなく、多くの人々が共有する社会、不平等な社会より平等な社会の方が望ましい（公平性）。こうした社会をどのようにすれば実現できるかを常に考えている学問です。こうした社会を実現する手段として、社会システムの変更を通じて人々の「インセンティブ（誘因）」に影響を与え人々の行動を変化させます。

もう紙面が尽きましたので、残念ながら今回の私の話はここまでとさせていただきます。まだ続きを聞きたい学生さんや興味や関心を持たれた読者は、経済学科の門を一度叩いてみてはいかがでしょうか？

参考文献 ・小崎敏男・牧野文夫・吉田良生編(2011)『キャリアと労働の経済学』日本評論社
・<http://mainichi.jp/sp/tokaism/laboratory/23.html>

お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 **大谷 謙太** 学年部部长 **梅林 祥子**

10月12日(土)、13日(日)両日に開催されます第49回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂とバザーの参加を予定しております。

- 場所**
- けやき屋食堂 / B2F 食堂 10:00~
 - バザー / B2F 物理実験室 10:00~(両日とも)

行事予定

October 10月

- 1日(火) 後期始業式[正制服着用] 45分短縮授業
- 4日(金) 第12回中等部・高校合同体育祭(さいたま総合グラウンド)
雨天時授業日
- 8日(火) 第12回中等部・高校合同体育祭予備日
(10/4体育祭実施・延期の場合は授業日)
- 9日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 10日(木)・11日(金) 建学祭準備日
- 12日(土)・13日(日) 第49回建学祭
- 14日(月) **体育の日**
- 15日(火) 建学祭閉祭式 45分短縮授業
- 16日(水) 振替休日(10/13分)
- 17日(木) 学年集会(中1・高1)
- 21日(月) 教育実習(～11/12)
- 26日(土) SSH成果報告会
- 27日(日) 高校受験生・保護者学校説明見学会(3回目)
- 30日(水) 金曜日の授業
- 31日(木) 生徒会立会演説会(1時限)

November 11月

- 1日(金) 東海大学建学71周年記念日 休業日
- 2日(土) 数学検定
- 3日(日) **文化の日**
- 4日(月) **振替休日**
- 5日(火) 建学記念式典 朝礼[正制服着用] 1限カット45分短縮授業
- 7日(木) 学年集会(中3・高3)
- 8日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 9日(土) スポーツ大会(高3:アリーナ)
- 10日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(4回目)
- 14日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定テスト(高1・高2)1回目
外部実力試験(中等部)
- 16日(土) 高校受験生・保護者学校説明見学会(4回目)
- 19日(火) 校医相談日
- 20日(水) 一斉公開授業(2回目) 専門医によるカウンセリング
- 21日(木) 一斉公開授業(2回目) 中等部合唱祭(1・2限)
- 23日(土) **勤労感謝の日**
- 28日(木) 生徒による授業評価アンケート(3回目)
- 30日(土) 後援会委員会

避難訓練



編集後記

後期がスタートした。本校が2学期制を導入したのは1999年。東海大学との密接な連携を目指した2学期制は今年で15年目を迎えたわけであるが、昨年末あたりから新しい動きが出てきた。東大が秋入学について本格的な検討に入ったというニュースがそれである。実は、わが国の大学でも大正10年までは秋入学を採用していたという。それが、国の会計年度に合わせて4月入学に変更されたという経緯は意外と知られていない。結局、東大は秋入学を当面見送る代わりに4学期制を導入する案をまとめた。他の大学も追随するだろうか。(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>